

データ潮流

data

2008年に生まれる 退職金市場と相続資産市場

2007年から09年にかけて、団塊の世代は定年退職のピークを迎えます。この世代には08年前後に、これまで手にしたことがなく、従って使い道も決まっていなかった相当額の資産が発生するだろうとNRIでは見ています。

その一つが退職金です。右表は、NRIが推計した退職金総額の見通しです。定年退職のピークにあたる07から09年にかけて、約15兆円という空前の額の退職金が発生することが予測されます。

もう一つは、相続資産です。01年度には約60兆円と想定されていた相続資産額は、08年度には3割以上増加の80兆円に上ると予想されます。この主な相続対象になるのが団塊の世代です。

新たな個人富裕層 団塊の世代

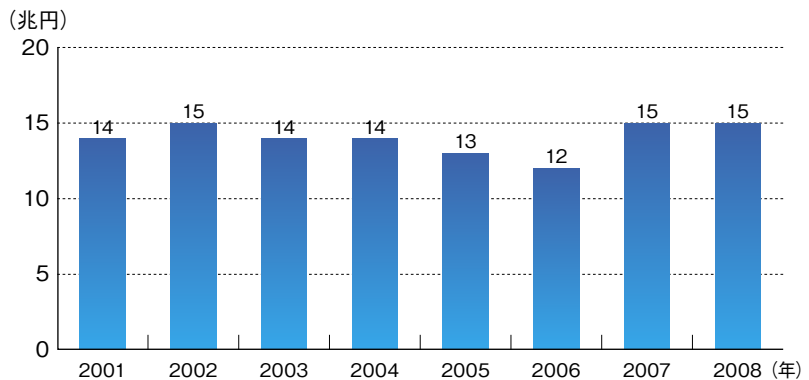
現在、日本では、家計資産の約半分、純資産ベースでは7割が、団塊の世代の上の世代である60歳以上によって保有されています。このため、金融機関のマーケティング対象も、これから富裕な高齢者が中心となっ

てきました。しかし今後は、個人資産を多く保有することになる団塊の世代が、個人金融市場において重要な対象となっていくと考えられます。

アメリカでは、1000万円から1億円の金融資産を持つ個人富裕層に対するファイナンシャルアドバイス市場が成長しています。この層の資産総額はおよ

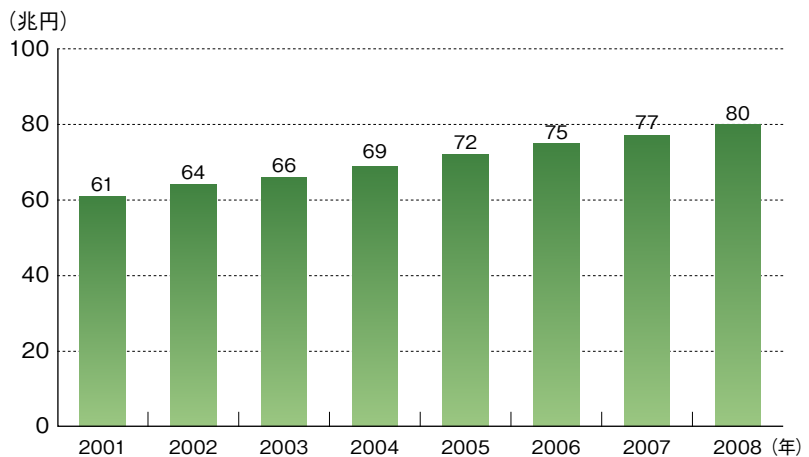
そ45兆円。このうち約1/3は、日本の団塊世代と同じ年齢層の人たちが保有しており、市場においても彼らを意識したマーケティングが行われています。日本の金融機関も、08年を視野に入れて、新たなマーケティング手法の開発を行う必要があります。

退職金総額の見通し



厚生労働省「賃金労働時間制度等総合調査」、同「退職金・年金に関する実態調査」、同「人口動態統計」、経済産業省「事業所・企業統計調査報告」等に基づきNRIが推計

相続資産額の見通し



総務省「全国消費実態調査」、国税庁統計年報等からNRI推計

内容のお問い合わせ

TEL **03-5533-3210** (広報部 担当: 瀬戸) E-mail **kouhou@nri.co.jp** 株式会社 野村総合研究所 広報部

当「NEWSletter」に掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。